

要望取り上げ 議会へ 日本共産党

党議員団の一般質問より



福井地方裁判所の判決(下記)は、地方自治体のあり方に重要な示唆を与えました。自治体は自然エネルギー導入に対し、コスト意識を優先するあまり、住民の健康や安全を守るという責務を忘れていきます。

羽曳野市は、今こそ原発のない社会をめざし、積極的に、自然エネルギーへの導入を促進すべきです。

大飯原発再稼働 差し止め判決(要旨)

- 人の命を基礎とする「人格権」は憲法上の権利で、これを超越する価値はない
- 原発の本質的な危険性について楽観的
- 「人格権」と電力安定供給のコストをてんびんにかけることは法的に許されない

原発のない社会へ



無人化への対応を 駒ヶ谷駅

昨年12月から、駒ヶ谷駅の終日無人化や、恵我ノ荘駅の一部無人化に対し、駅利用者から心配や苦情の声が寄せられています。3月市議会では、近鉄に対し、駅係員の配置を求める決議を、全会

派一致で採択しました。また、市から改善要望も出されました。この間、日本共産党議員団は近鉄と交渉を続けてきましたが、「経営上、やむを得ない」という回答でした。そこで、市民の命を守る羽曳野市が対応するよう求めたところ、市は「本年2月、駅前にLEDの街路

灯を設置した。近鉄が、近鉄敷地内に業務している従業員に駅構内の見回りができないか、府内で同様の事例がないか、調査していきたい。」との答弁でした。市民の命を守る羽曳野市として、人的な配置を具体的に考えるべきです。

就学援助制度の充実を

お金のあるなしで教育を受ける権利が左右される事があってはいけません。受給資格の拡大と入学時の支給額の増額を求めました。受給資格は、生活保護基準をもとに決まりますが、生保の捕捉率(生保を受けられるべき方のうち、実際受けている方の率)が低い中、生保基準での受給資格を改めるべきです。入学一時金については、国の基準通りといいますが、制服など必要経費がかさむ中、引き上げるべきです。

順礼街道の整備を

世界文化遺産にふさわしい街づくりとして、羽曳野市内を通る四つの歴史街道「竹之内街道」「東高野街道」「長尾街道」「順礼街道」の整備として、西浦や蔵之内を通る「順礼街道」の道路整備と標示・標識の整備を求めました。市は、西浦・蔵之内町会から道路の整備要望を受け、境界確定し、整備を予定しています。

道路の安全対策を

今年度、府道郡戸大堀線(恵我ノ荘駅前通り)は、路線測量作業等が行われます。市道東大塚美陵線は、今年度中に用地取得し、27年度末に松原までの50M区間が供用開始の予定です。一日も早い道路の拡幅と安全対策を求めました。

水道料金が値下げ

日本共産党は、景気低迷が続く中、市民の暮らしを守るため、水道料金の値下げを要求してきました。そして今年10月から、羽曳野市で初めて、基本料金が100円値下げ(735円から635円)となりました。平成25年度は、半年分で2550万円値下げとなります。

臨時福祉給付金 と 子育て世帯臨時特例給付金

《詳細は6月広報のP6に掲載》

2つの給付金は対象者全員に速やかに支給を

この2つの給付金の支給対象となる可能性のある方に、6月30日から申請書が郵送されています。

申請には、身分証明書のコピー、口座が確認されるコピーが必要です。また申請後、書類に不備がなければ、約1カ月後に口座に振り込まれます。今回のこの給付金は、

消費税増税をしたことでの低所得や子育て世代の方への負担軽減措置です。

特に臨時福祉給付金は65歳以上の高齢者が対象であり、手続きが困難をとまなうことから、対象の方が最後の一人まで受け取れる体制をつくるよう強く求めました。

